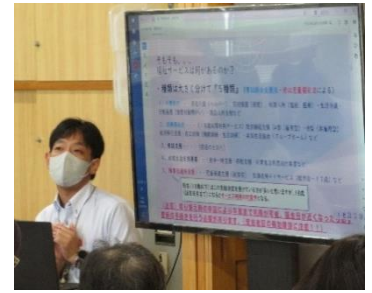


PTA 福祉サービス研修会 報告

9月5日(木)、高山市福祉サービス公社 高山市障がい者生活支援センターの大崎雅也様を講師にお迎えし、研修を行いました。当日は32名の保護者が参加しました。

高山市障がい者生活支援センターについてや、卒業後を意識した準備(障害福祉サービス、手当・障害年金・制度)についてお話をいただいたり、事前アンケートに寄せられた質問へご回答いただいたりしました。



10月10日(木) PTA 訪問行事

今回は、「綿棒アート」にチャレンジしました。机に用意された色とりどりの綿棒に親子で興味津々。段ボールの板に綿棒をさしていく、という単純なものですが、綿棒の微妙な色あいや、ちょっとした大きさの違いで表情がつけられ、簡単で楽しいのに奥深い作業で、子どもたちは没頭していました。

訪問クラスは皆なかなか会えないですが、お互いの作品を見て感心したり笑い合ったり、集中して作る時間を共有できたこともステキでした。講師の山下先生は、気長に見守り優しく声を掛けてくださって、とても嬉しかったです。関わって下さった皆さま、楽しい時間をありがとうございました。

岐阜県障害児・者の教育と福祉振興大会 並びに岐阜県特別支援学校 PTA 研修大会

9月26日(木)関市文化会館で行われた福祉振興大会に出席しました。岐阜県特別支援学校 PTA 研修大会 40周年ということで、岐阜県総合医療センター 新生児内科医長 寺澤大祐医師 「いのちの理由～コウノドリの現場から、あなたへ～」という内容で記念講演が行われました。

周産期医療の中で重い病気や障害をかかえて生まれてきた赤ちゃんの命と向き合うお医者さんであり、またご自身の弟も障がいがあるということもあり、とても親近感がわきました。話だけでなくピアノの演奏もステキで、笑いあり涙ありの90分でした。その中でとても心に残ったのは、「その子の普通を大事にしてあげる」という言葉でした。このような講演をもっとたくさんの方に聞いてもらいたいと思いました。事後反省の中で、今後の参加方法の選択肢として、オンラインという方法もお願いしておきました。

～ ひだっこぐるぽ(PTA 茶話会)レポート ～

・9月30日(月)7名のPTA会員の皆さんで、高等部調理班の3種のマフィンを囲んで、「これからどんなテーマについて集まって話したいか」について話し合う「第1回ひだっこぐるぽ(PTA茶話会)」が行われました。防災、現場実習のこと、福祉サービス、年金についてなど、和やかな雰囲気の中で、話題は多岐にわたり、あっという間のひと時でした。お聞かせいただいたアイデアをもとに今後の「ひだっこぐるぽ」を計画したいと思います。皆さん是非ご参加ください。

・10月30日(水)「障がい者年金申請用紙の書き方」をテーマに第2回ひだっこぐるぽを行いました。9月5日のPTA研修会でお話くださった相談支援専門員の大崎様にお越しいただき、分からない項目について丁寧に説明していただきました。計画していた時間があっという間に過ぎ、年金申請が少し身近に感じられる有意義な会となりました。

～みんなで子育て ツナガル 子ども 親 先生 ツナガル～

息子と一緒に寝ていた時、「あーくたびれたあ」って言ったら、私が赤ちゃんの時に寝かしつけていたように、背中をポンポン叩いてくれました。

なんだか気持ちがホッとして、グューと抱きしめました。(中学部保護者)

★皆様の投稿で作るコーナーです。先生や先輩保護者に聞きたいことや相談したいこと、お子さんの心温まるエピソードをこちらのQRコードより170字以内で投稿下さい。お待ちしております→

